

2023 年度（令和5年度）

履 修 要 項

千葉大学大学院人文公共学府
(博士後期課程)

自然災害・事故及び交通機関のストライキ等に伴う授業の措置について

平成28年9月20日
学部教育委員会申合せ
平成28年9月20日
大学院教育委員会申合せ
(最近改正 平成31年4月1日)

自然災害・事故及び交通機関のストライキ等に伴う授業の取扱いについては、下記のとおりとする。

1. 自然災害・事故及び交通機関のストライキ等に伴い、各キャンパスの最寄駅を運行する全線の列車が運行停止となった場合。
 - ①午前6時までに運行しない場合は、第1及び第2時限の授業を臨時休講とする。
 - ②午前10時までに運行しない場合は、第3、第4及び第5時限の授業を臨時休講とする。
 - ③正午までに運行しない場合は、第6及び第7時限の授業を臨時休講とする。
2. 台風等により、気象庁から各キャンパスの所在地域に「特別警報（高潮及び波浪を除く）」、「暴風警報」又は「暴風雪警報」（以下「警報」という。）が発令された場合。
 - ①午前6時までに警報が解除されない場合は、第1及び第2時限の授業を臨時休講とする。
 - ②午前10時までに警報が解除されない場合は、第3、第4及び第5時限の授業を臨時休講とする。
 - ③正午までに警報が解除されない場合は、第6及び第7時限の授業を臨時休講とする。
 - ④授業の開始後、警報が発令された場合は、当日のその後に開始する授業を臨時休講とする。
3. 各キャンパスの最寄駅を運行する全線の列車が運行停止とはなっていないが、台風の接近等により運行停止が見込まれる場合、又はその他の事由により通学及び帰宅が困難と判断される場合。

各部局の状況等を勘案し、教育担当理事がキャンパスごとに決定する。なお、台風等により、気象状況が時間の経過とともに悪化することが十分予測される場合は、前日までに休講の決定を行うことがある。
4. 部局の事情により、上記1～3の取扱いにより難しい特別の事情がある場合。

当該部局長の判断により取扱いを決定することができる。なお、この場合は、当該措置後、速やかに教育担当理事にその状況を報告する。
5. 休講等の措置に係る学生及び教員等への周知方法。

千葉大学学生ポータル及びホームページ等を活用し、速やかな周知を図る。
6. 教育実習等の場合の取扱い。

教育実習、臨床実習、介護等体験実習及びインターンシップ等の場合は、各実習先の指示に従う。
7. 自然災害等による甚大な被害により、交通機関の復旧が長期にわたる場合。

その状況に即し、学長が適宜決定する。

※1及び3の最寄駅は、「西千葉地区…JR 西千葉駅及京成みどり台駅」、「亥鼻地区…JR 千葉駅及び京成千葉駅」、「松戸地区…JR 松戸駅及び新京成松戸駅」及び「柏の葉地区…つくばエクスプレス柏の葉キャンパス駅」とする。

目 次

自然災害・事故及び交通機関のストライキ等に伴う授業の措置について

はじめに	1
1 人文公共学府の概要	2
(1) 教育プログラム	2
(2) 人文公共学府の構成	3
(3) 大学院共通教育について	3
2 履修について	4
(1) 「授業科目」の履修方法	4
(2) 留学の必修化について	7
(3) 学府における「研究指導」	7
3 学位の取得	8
4 修了までの年次別手順	10
5 事務手続き等について	11
6 授業科目（別表1）	13
授業時間割表	16

はじめに

千葉大学大学院人文公共学府（博士後期課程）では、以下のように学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を定めています。

「自由・自立の精神」

- ・人文科学及び公共学・社会科学の分野において、行政や国際機関を含む社会の多様な研究・教育機関の中核を担う研究者もしくは大学教員を目指す人材として、自ら研究課題を設定し、自立した研究活動を行うことができる。
- ・人文科学及び公共学・社会科学の分野における研究倫理を身につけている。

「地球規模的な視点からの社会とのかかわりあい」

- ・人文科学及び公共学・社会科学の分野において広範な視野と多様な視点を持ち、国内外の専門機関や研究者と協働し、自ら課題を設定し自立的な研究開発を行うことができ、その成果を国際的・学際的に発信できる。また、公共性を身につけた研究教育者あるいは国内外の機関を指導する人材として活動するための基礎として、多様な文化・歴史に対する理解がある。
- ・自己の国際経験を生かし、先導的に学問の発展に寄与することができる。

「専門的な知識・技術・技能」

- ・人文科学及び公共学・社会科学の分野において、創造性に富む高度な研究・開発能力と豊かな学識を持ち、新たな知見や価値の創出に貢献でき、イノベーション創出の実践を目指すことができる。また、幅広く専門的および公共的知識に基づく研究遂行能力を生かして、高度な研究開発プロジェクトの企画・管理を行うことができる。

「高い問題解決能力」

- ・人文科学及び公共学・社会科学の分野において、多様な専門領域の情報・知識を他者と共有し、公共的知見を具備した指導者として協調・協働し、知識集約型社会を支える新たな知見や価値を創出できる。

人文公共学府の教育課程は、以上のような学位授与の方針に基づいて構成されています。この履修要項では、学位取得に向けた諸手続きや履修方法について説明しています。

1 . 人文公共学府の概要

(1) 教育プログラム

人文公共学府の教育プログラムは、「授業科目」と「研究指導」に分類されます。

授業科目 (→2 (1) 参照)

① 授業科目は、「6. 授業科目, 単位数および履修方法」に掲載するとおりです。

また、学府長の許可を受ければ、本学大学院の他の学府・研究科又は他の大学院の授業科目の履修も可能です。

② 授業では、演習形式の授業に重点がおかれます。

研究指導 (→2 (2) 参照)

① 研究指導は、学位論文の作成などに対する指導を内容とします。

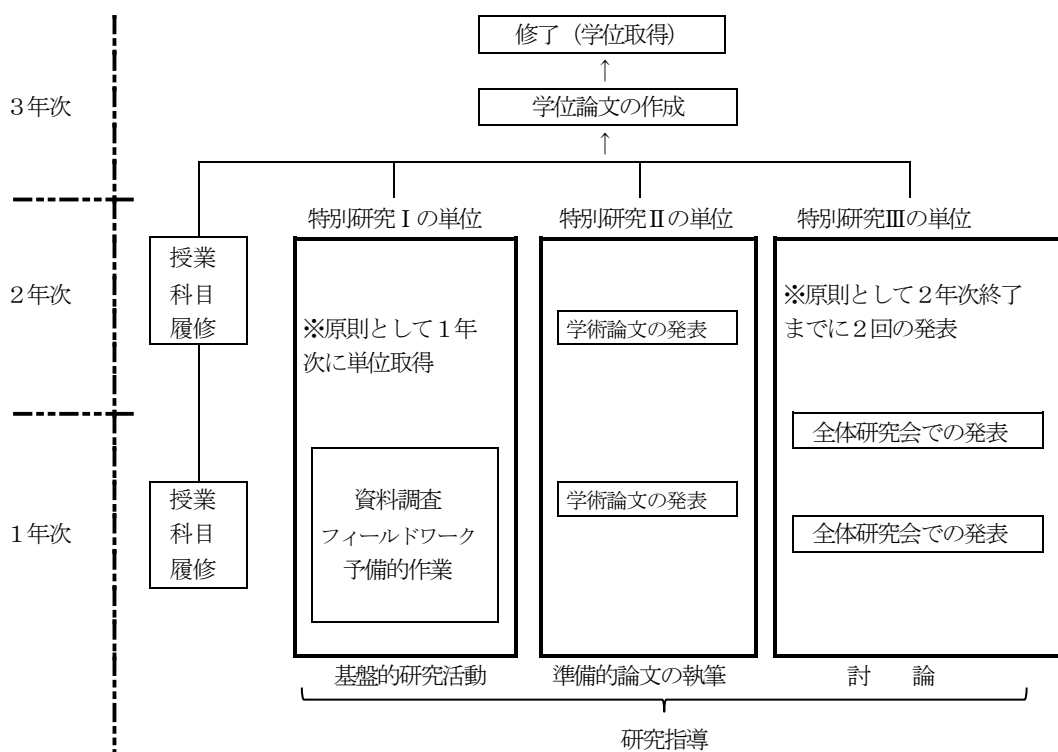
② 研究指導は、主任指導教員1名及び副指導教員2名の教員がチームとなって行います。

③ 研究指導においては、学内外での学術論文の発表と口頭による研究発表を義務付けます。毎年、学府主催で公開の「全体研究会」を開催し、2年次終了までに2回の発表を義務とします。

④ 研究指導においては、共同研究を重視します。学生には、人文科学研究院・社会科学研究院等の研究センターで組織される研究プロジェクトへの参加を奨励します。リサーチ・アシスタント (RA: 博士後期課程の学生から選ばれる有給の研究補助員で、毎年公募の上審査決定する) 等として研究プロジェクトに参加して活動した実績は単位としても認定されます。また、学生が外国の研究機関等で研修することを奨励します。

⑤ 社会人学生には、教育方法の特例により、便宜をはかります。

教育プログラム構成図



(2) 人文公共学府の構成

人文公共学府（博士後期課程）は、以下の1専攻、3コースからなります。

専攻	コース
人文公共学専攻	人文科学コース
	公共学コース
	社会科学コース

(1) 「人文科学コース」は、人文科学に関わる基盤的専門分野に対応した高度な専門的知識を提供する科目を配置し、各自が選択した専門性に基づいて選択必修科目を選択します。

専門分野や対象を限定し、深く掘り下げた博士論文テーマであると評価された場合に「博士（文学）」を授与します。人文科学を幅広く学際的に履修し、相応の博士論文テーマであると評価された場合に「博士（学術）」を授与します。

(2) 「公共学コース」では、政治学・政策学・国際関係論分野の「公共性」にかかる科目を中心に配置し、「福祉」「環境」「地域」といった学際的問題について、グローバルかつローカルな視点から学ぶことを可能とします。

「公共学コース」で授与する学位は「博士（公共学）」を基本とし、公共学及び社会科学を幅広く学際的に履修し、相応の博士論文テーマであると評価された場合に、「博士（学術）」を授与します。

(3) 「社会科学コース」では、法学・経済学分野の高度な専門的知識を提供する科目を配置し、社会のさまざまな課題の本質を理解し新たな解決策を理論的に導く人材を養成します。

「社会科学コース」で授与する学位は「博士（法学）」ないし「博士（経済学）」を基本とし、法学ないし経済学及び社会科学を幅広く学際的に履修し、相応の博士論文テーマであると評価された場合に、「博士（学術）」を授与します。

(3) 大学院共通教育について

千葉大学では総合大学である特色を生かし、令和元年度より大学院共通教育を導入しました。所属する研究科、学府に関わらず履修可能な大学院横断型の授業が多数用意されています。詳しくは、「千葉大学大学院共通教育科目授業案内」を参照し、関心に応じて履修してください。（千葉大学ホームページの「教育」のページにも掲載されています。）

2. 履修について

(1) 「授業科目」の履修方法

履修登録

1) 第1タームから第6タームの履修科目を①「履修計画表」(書式1)に記入し、主任指導教員の確認を得て、4月末日までに人社系学務課大学院学務室に提出するとともに、②学生ポータル(Web登録)にて履修登録期間中に学生本人が登録してください。なお、プロジェクト研究I・II、国際インターンシップA・B、海外/国内フィールドワーク、国際研究実践論A～C、特別研究I～IIIについては、担当教員に相談してください(学生ポータルでの履修登録は不要です)。

学生ポータル(web登録)にて履修登録がされていないと単位の修得ができません。履修登録・修正期間を過ぎての履修登録や取消は認められませんので、各自の責任において十分注意してください。

また、専門科目の授業は2ターム連続して受講する必要がありますが、履修登録期間は最初のタームになります。共通基礎科目、実践科目、論文指導科目は履修年次・タームが決まっていますので、ご注意ください。

<履修登録方法>

- ①「学生ポータル」<https://portal.gs.chiba-u.jp/>にアクセスする。
- ②「履修登録・WEB成績閲覧」メニューをクリックし、Google Workspaceアカウント(学生証番号@student.gs.chiba-u.jp)でログインする。
- ③Campus Plan メインメニューに遷移した後、「Web履修申請」アイコンから履修登録を行う。

2) 4月の段階で登録していなかった第2ターム以降の科目について履修する場合には、各タームの履修登録期間中に学生ポータル(Web登録)にて学生本人が登録することで、追加登録することができます。追加登録等を行なった場合に、再度「履修計画表」を提出する必要はありません。

3) 各授業科目は、各タームの授業開始日からの1週間に1回目の授業が行われます。開講される場所は各担当教員の研究室(別の場所の場合は掲示されます)ですので、履修したい授業の授業開始時間に担当教員の研究室に行ってください。集中講義の日程等については掲示します。

4) 同一の科目を2回履修することはできません。

また、内部進学者の場合等で、本学府の博士前期課程で「国際インターンシップA,B」の単位認定がされている場合は、博士後期課程で同一名称の授業科目を履修することはできません。

5) 第3ターム及び第6タームの開講科目を修了予定学期に履修することはできません。(該当タームの開講科目については、時間的制約から、修了認定の時点までに単位認定が間に合わないおそれがあるため)

6) 同一の研究業績を用いて、複数の授業科目の単位認定申請をすることはできません。

7) 年次進行により科目編成が変更されることで、開講されなくなる科目が生じることがあります。このような科目は履修することができません。

8) 年次進行により科目編成が変更されることで、新規に開講される科目が生じることがあります。このような科目は、要件を満たすことにより履修することができます。

修了の要件

本学府を修了して博士の学位を取得するには、3年以上在学し、共通基礎科目1単位、実践科目4単位、論文指導科目5単位、専門科目4単位、自由選択科目2単位の計16単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けたいうえ、学位論文の審査及び最終試験に合格することが必要です。また、学府が開講する留学科目の単位を修得することも必要です。

なお、優れた研究業績をあげた者は、1年以上3年未満の在学で修了することもできます。

修了に必要な単位

- 1) 修了に必要な単位数は、16単位です。成績評価は、出席状況、レポート、期末試験等を総合して行います。その具体的な評価方法は科目ごとに異なっており、それらは、WEB上のシラバスに、科目ごとに掲載されています。当該科目における成績の評価には、5段階評価(下表)と「合格・不合格」とがあります。

評語	評点	評語の解説
秀	100～90点	学習目標を十分に達成したものと認められ、特に優れた成績である。
優	89～80点	学習目標を達成したものと認められ、優れた成績である。
良	79～70点	学習目標の根幹的な部分は達成したものと認められ、妥当な成績である。
可	69～60点	学習目標の最低限は達成できたと認められる成績である。
不可	59～0点	学習目標の最低限が達成できていないと認められる成績である。

成績評価基準 (対象：履修登録者20名以上の講義科目。演習・実習科目は対象外とする。)

- ① 原則として、履修登録者に占める「優」の割合は40%以内とし、「秀」の割合は20%以内とする。
② 該当する科目の担当教員は成績認定済みの授業科目の成績分布を、学生ポータルを通じて公示する。

成績評価に疑義がある場合は、「成績評価に関する異議申立書」を成績公表後15日以内(修了時を除く)に人社系学務課大学院学務室に提出することにより異議申し立てができます。

合格・不合格で評価される科目

国際インターンシップA・B、海外/国内フィールドワーク、国際研究実践論A～C、特別研究I～III、留学代替特別演習

- 2) 必要単位の区分は、以下のとおりです。

区分	科目	履修年次	単位	小計	合計
共通基礎科目	人文公共学リサーチ方法 基礎論	1	1単位	1単位	16単位
実践科目	授業(演習・実習)科目	1・2, 1・2・3	4単位	4単位	
論文指導科目	特別研究I	1	1単位	5単位	
	特別研究II	1・2	2単位		
	特別研究III	2	2単位		
専門科目	授業(演習)科目	1・2・3	4単位	4単位	
自由選択科目	授業(演習)科目	1・2・3	2単位	2単位	

(1) 「共通基礎科目」 1 単位 (必修)

1 年次に「共通基礎科目」として公共学的視点と高い研究倫理性を身に付ける「人文公共学リサーチ方法基礎論」を履修します。必修科目ですので1年次に必ず履修してください。

(2) 「実践科目」 4 単位 (選択必修)

「実践科目」では、「公共学的視点」に基づく実践的研究活動を行うための協働力、企画力、運営力や国際的発信力を身に付けます。具体的には、「プロジェクト研究Ⅰ・Ⅱ」「国際インターンシップA・B」「国際研究実践論A～C」「海外／国内フィールドワーク」「人文公共学特別演習」の履修がこれにあたります。

(3) 「論文指導科目」 5 単位 (必修)

入学後、主任指導教員1名、副指導教員2名により「論文指導科目」を担当する体制が決定されます。「論文指導科目」である「特別研究Ⅰ～Ⅲ」の単位を取得することにより学位論文提出資格が与えられます。

① 「特別研究Ⅰ」1 単位は、指導教員の指導のもとで、学生が研究計画を策定し、「年次研究計画書」として指導教員に申請し、承認を受けた1年次の研究活動の遂行とその報告によって与えられる単位です。例としては、国内諸機関の訪問、海外留学などによる資料収集活動、海外現地での教員や学生との交流、また学問分野によっては、実験やフィールドワーク、博士論文作成と有機的に関連づけられた予備的作業・社会的活動などが含まれます。また、本学府と提携関係にある大学院において研究指導の一部を受ける、あるいは授業単位を取得することなども推奨されます。この「特別研究Ⅰ」は、博士論文執筆に向けて行われる基盤的研究活動に対して与えられる単位ですから、原則として1年次に単位を取得してください。

② 「特別研究Ⅱ」2 単位は、指導教員の指導のもとで、博士論文の中間段階として、審査付き学術雑誌に1篇、ないしは審査のない学術雑誌（本学府の紀要を含む。ただし、プロジェクト研究報告書は除く。）に2篇の学術論文を掲載した場合に与えられる単位です。いずれの論文も博士論文作成過程との有機的連関が求められます。また、いずれの場合にも、論文は初出のものとし、指導教員の査読を経なければなりません。原則として、2年次までに単位を取得してください。

③ 「特別研究Ⅲ」2 単位は、指導教員の指導のもとで、各年度に2回（第3ターム、第6ターム）行われる学府主催の全体研究会において、執筆予定の博士論文に即したテーマで、2回研究報告を行った場合に与えられる単位です。全体研究会における研究報告は、博士論文執筆の準備となるべきものですから、原則として2年次終了までに研究報告を行い、単位を取得していなければなりません。なお、上記「特別研究Ⅰ」に関連する研究活動のために、学生が6ヶ月以上、長期に海外研修を行う場合には、6ヶ月ごとに4000字以上（様式は任意）の研修報告を指導教員に提出し、承認を受けることによって、全体研究会での1回の発表と換算することができます。ただし、休学して海外研修を行う場合などには、上記措置は適用されません。

(4) 「専門科目」 4 単位 (選択必修)

「専門科目」は、所属するコースで開講されている授業科目です。詳しくは別表1を参照してください。

(5) 「自由選択科目」 2 単位 (選択必修)

「自由選択科目」は、人文公共学府または千葉大学大学院の他研究科で開講されている科目から能動的かつ自由に選択することができます。専門科目を自由選択科目にする場合には、単位取得後に科目区分変更手続きを行なう必要があります。

他の大学院又は千葉大学大学院の他の学府・研究科の授業科目の単位を履修したときは、8単位までを限度として、本学府の単位とみなされることがあります。

(2) 留学の必修化について

留学の認定について

本学府を修了するためには、在学中に1回以上留学することが必須となります。学府開講科目の中では、次に掲載する科目（以下、学府開講留学科目と呼ぶ。）のいずれかの単位を修得することで、留学が認定されます。

「国際インターンシップA」, 「国際インターンシップB」, 「海外フィールドワーク」, 「国際研究実践論A」, 「国際研究実践論B」

なお、学府開講留学科目以外でも、大学院共通教育の留学プログラムに参加し、当該科目の単位を修得することで、留学が認定されます。

留学できない事情がある場合には、留学を代替する措置があります。本学府においては、留学代替措置の一つとして、科目「留学代替特別演習」の単位を修得することで、留学に替えることができます。

外国人留学生については、留学を希望しない場合には申請することで修了要件から免除されます。

留学代替措置や留学免除に関する申請手続等については、人社系学務課大学院学務室窓口において確認してください。

(3) 学府における「研究指導」

学生の「研究活動」という観点から見ると、本学府における教育は次のような制度になっています。

1) 入学願書の記載と選抜試験によって、入学後に主任指導教員（1名）が確定されます。主任指導教員と副指導教員（2名）でチーム（以下「指導教員チーム」といいます。）を構成し、学生の研究の進捗状況を常に把握し、研究の方法、内容等について適切な助言を与えます。

2) 学生は、指導教員チームの助言を得ながら、1年次の研究スケジュールを記載した「年次研究計画書」（本『要項』巻末の書式集参照）を作成して、入学年度の5月末までに提出します。また、毎年5月末までに指導教員と「研究指導計画書」を作成します。

「特別研究Ⅰ」の単位は、原則として1年次の「年次研究計画書」において申請した1年次の研究計画の実施に対して与えられる単位ですから、その点に留意した上で計画を策定してください。（前述(3)「論文指導科目」①「特別研究Ⅰ」参照）**1年次末には、博士論文作成に向けた基盤的研究活動の成果の概要を、「特別研究Ⅰ単位認定申請書」にまとめて主任指導教員及び人文公共学府長に提出します。**

3) 学生は、年2回（第3ターム、第6ターム）、原則として教員・学生の全員が参加して開催される「全体研究会」において、2年次終了までに、博士論文の課題に関連したテーマで少なくとも2回の研究発表を行います。**全体研究会で報告を行った場合には、その都度「特別研究Ⅲ単位認定申請書」に記載し、2回目の研究報告が終了してから、主任指導教員に提出してください。**（前述(3)「論文指導科目」③「特別研究Ⅲ」参照）

4) 学生は、学位論文を作成する前に、「学術論文」1篇ないし2篇を、学術雑誌等に発表します。これは、学位論文の作成準備の課程で、前提として解決しておくべき論点、関連ある論点又は学位論文のテーマの一部について論文を発表しておき、最終的にこれらを学位論文の中に織り込む、というプロセスを想定したものです。

必要な論文の点数は、審査のあるもの（審査を経て掲載が許される学会誌などに掲載されたもの）の場合は1篇、そうでない場合は2篇です。本学府の紀要（『人文公共学研究論集』）に発表された論文は、「審査のない学術論文」として数えられます。（前述(3)「論文指導科目」②「特別研究Ⅱ」参照）

ただし、プロジェクト研究報告書を「特別研究Ⅱ」の学術論文として使用することはできません。

なお、他の著者と共同して論文を執筆したときは、学生がその論文について半分を超える寄与をしている必要があります。寄与の割合については、論文の筆頭執筆者の説明を求めることがあります。

査読付の論文1篇ないし、査読なしの論文2篇を発表した場合には、「特別研究Ⅱ単位認定申請書（掲載された学術雑誌等の該当部分（抜刷可）及び表紙のコピーを3部添付）」を主任指導教員に提出してください。

3. 学位の取得

(1) 学位取得への道すじ

1) 学位論文構想の提出

2年次始め（標準在学年限の場合。以下同じ。）に、指導教員チームの承認を得て「学位論文構想」を提出します。これは、学位論文の章・節などの構成の概要と、研究スケジュールの概略等を記載したものです。

2) 学位論文予備審査（学位論文計画書の提出）

学位論文提出の前に、「学位論文計画書」を指導教員チームに提出し予備審査を受けます（提出時期については、「修了までの年次別手順」で指示）。「学位論文計画書」は、学位論文の章・節などの構成の詳細とそれぞれの内容の概要を記載したものです。論文提出資格を満たし、予備審査で論文計画が承認されれば、学位論文を提出することができます。

3) 論文提出資格の確認

学位論文を提出するためには、原則として2年次の終わりまでに、共通基礎科目1単位、実践科目4単位、専門科目4単位、自由選択科目2単位、論文指導科目（特別研究Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ）5単位を修得していなければなりません。その資格確認は、学位論文提出の4か月前までに行われます。

4) 学位論文審査（本審査）の申請

予備審査合格者は、学位論文審査の申請書類を、主任指導教員の承認を得た後、人社系学務課大学院学務室に提出します。

提出日が休業日の場合は、その次の平日が期限となります。

提出書類	部数	提出期限
学位論文審査願	1部	3月修了： 10月1日 17時00分（厳守） 9月修了： 2月末日 17時00分（厳守）
履歴書	1部	
出身学校（最終学校）の卒業（修了）証明書（原本）	1部	
学位論文	5部	
論文内容の要旨 ※電子データ（wordファイル）も併せて提出すること	5部	
研究業績目録	5部	
研究業績論文	1部	

学位論文及び「論文内容の要旨」の作成要領

- ① 論文の長さは、和文の場合、概ね400字詰め原稿用紙300枚を基準とし、欧文の場合は、これに準じます。ただし、論文の長さは、専門領域により変更が可能です。
- ② 論文には、調査資料、史料、文献目録、図版等を付けることができ、その分量は特に限定しません。
- ③ 学位論文は、後掲「学位論文製本要領」の図版に従い、A4版で製本したものを5部提出してください。

- ④ 学位論文の提出に際しては、論文の要旨5部を添えてください。
- ⑤ 論文の要旨は、和文の場合は400字詰め原稿用紙10枚程度とし、欧文の場合は、これに準じます。ただし、論文要旨の長さは、専門領域により変更が可能です。
- ⑥ 論文の要旨を提出するときは、電子データ(wordファイル)も併せて提出してください。電子データはメールに添付して人社系学務課大学院学務室(gah2352@office.chiba-u.jp)あてに送付してください。

5) 学位論文審査

学位論文提出者ごとに設置された論文審査委員会において論文が学位に値するか否かを審査します。また、学位に付記する専門分野の名称を判定します。論文審査委員会は論文審査及び面接諮問による最終試験を行います。論文審査委員会の主査は審査結果報告書を学府長に提出します(3月修了は12月、9月修了は6月)。

6) 教授会の修了判定

3月修了の場合には1月、9月修了の場合には7月の教授会で判定します。

7) 修了者に対する学位授与

学位の授与は3月と9月に行ないます。

(2) 学位論文の審査基準

学位論文は、次のような基準により、審査されます。

- ① 学位論文が、先行する研究成果を正しく踏まえたうえで、十分な資料やデータを駆使し、「厳密な論理」と「独創性」によって導かれ、当該研究分野に対し、「新規性」のある知見を付与するものであること。
- ② 学位論文提出者が、研究における十分な「倫理性」を有し、自立した研究者として活躍する高度で公共的な研究能力を発揮し得ることが認められる論文であること。
- ③ 学位論文提出者が、高度で公共的な専門的業務を遂行するに必要な能力と学識、倫理観を有すると認められる論文であること。

(3) 学位

各コースにおいて授与される学位及び付記する専門分野の名称は、次のように定められています。

人文科学コース 博士(文学), 博士(学術)

公共学コース 博士(公共学), 博士(学術)

社会科学コース 博士(法学), 博士(経済学), 博士(学術)

(4) 学位論文の公表

学位取得者は、学位論文を原則としてインターネットにより公表するものとします。

なお、インターネット公表に当たり、学位論文を掲載したCD及びインターネット公表確認書を学位取得後の別途指定する日までに提出するものとします。

(5) 保存のための学位論文の提出

学位申請者は、教授会の行う学位授与の判定が終了し、学位授与が決定した場合は、保存のための学位論文を別途指定する日までに、1部提出するものとします。

(6) 早期修了制度による学位論文の提出

優れた研究業績をあげた学生は、修了に必要な単位を取得した場合、指導教員チームの助言に基づき、1年以上3年未満の在学により、学位論文を提出して、修了することができます。

早期修了の審査手続き(在学期間特例申請の審査)については、別に定めるところによりますので指導教員及び人社系学務課大学院学務室にご相談ください。

4. 修了までの年次別手順

入学から修了までに必要な諸手続きを自己管理できるように、手続きの一覧表を作りました。

(1) 標準修学の場合

年次別	学期別	事 項	提出時期等	本 人 確認欄	参照箇所
1年次	前 期	①指導教員チームの決定	入学時		2(1)(2)
		②年次研究計画書の提出	5月末日まで		2(1)(2)
		③研究指導計画書の提出	5月末日まで		2(3)
		④共通基礎科目(必修)1単位の履修	第①ターム		2(1)
	随 時	⑤特別研究I単位認定申請書の提出	1年次末まで		2(1)(2)
2年次	前 期	⑥学位論文構想の提出	5月末日まで		3(1)
		⑦研究指導計画書の提出	5月末日まで		2(3)
		⑧第1回全体研究会	9月中～下旬		2(1)(2)
	後 期	⑨第2回全体研究会	3月上～中旬		2(1)(2)
1～2年次 の間		⑩履修計画表(Web登録も必要)	4月末日まで		2(1)
		⑪特別研究I, II, IIIの単位認定	2年次末まで		2(1)(2)
		⑫実践科目, 専門科目, 自由選択科目の履修	〃		2(1)
3年次	前 期	⑬学位論文計画書の提出(予備審査)	5月末日まで		3(1)
		⑭論文提出資格確認願の提出	5月末日まで		3(1)
		⑮研究指導計画書の提出	5月末日まで		2(3)
		⑯学位論文審査申請書類の提出(本審査)	10月1日まで		3(1)
		⑰最終試験(口頭試問)	12月末頃まで		3(1)
	後 期	⑱保存のための学位論文の提出	3月下旬		3(5)

(2) 翌年9月修了の場合

年次別	学期別	事 項	提出時期等	本 人 確認欄	参照箇所
3年次	後 期	⑰学位論文計画書の提出(予備審査)	10月末日まで		3(1)
		⑭論文提出資格確認願の提出	10月末日まで		3(1)
		⑮学位論文審査申請書類の提出(本審査)	2月末日まで		3(1)
	翌 年	⑰最終試験(口頭試問)	6月末頃まで		3(1)
		⑱保存のための学位論文の提出	9月下旬		3(5)

5. 事務手続き等について

1) 授業・履修・学生生活等に関わる通知

- ①「学生ポータル」 (<https://portal.gs.chiba-u.jp/>) では履修登録のほか、シラバス、休講情報、成績、大学からの通知等を確認することができます。大学から交付される Google Workspace アカウント (学生証番号@student.gs.office.chiba-u.jp) でログインして利用してください。
- ②千葉大学から交付されるメールアドレスに対して、大学からの重要なお知らせが配信されることがありますので、確認を怠らないようにしてください。
- ③人文公共学府の屋内掲示板 (文学部棟1階入り口左手) には、学生ポータルに掲示していない情報もありますので確認するようにしてください。

2) 各種手続き

◎印は、人社系学務課大学院学務室窓口で行う手続き

種別	概要
証明書関係	<p>「証明書発行サービス」を利用して、必要な証明書の申請を事前に実施いただき、学生支援課 (学生支援プラザ内) に設置された発行機から、在学中は各種証明書を発行することができます。【無料/平日8:30~17:00のみ】</p> <p>また、同サービスでは、対応するコンビニエンスストアのマルチコピー機から、各種証明書を発行・取得することも可能です。【有料】</p> <p>※成績証明書は1年次第4ターム以降、修了見込証明書は3年次進級後に、発行・取得が可能になります。</p> <p>◎証明書発行サービスに対応していない証明書 (指定書式の証明書など) が必要な場合には、証明書交付願により窓口で申し込んでください。(発行まで所定の日数がかかるため、即日発行には応じられません。余裕を持って早めに申し込んでください。)</p>
身分関係	<p>休学願</p> <p>◎身分異動 (休学, 休学延長, 復学, 留学, 退学) については、全て事前に指導教員から承諾 (承認印) を得る必要があります。</p> <p>◎疾病その他の事由により2ヶ月以上修学することができない場合、休学事由を付して休学を願い出してください。(疾病の場合は、医師の診断書を添付してください。) 提出の期限は、原則として前期からの場合は2月末、後期からの場合は8月末までとします。休学の期間は通算して3年を超えることができません。休学期間の終了前に身分異動手続き (復学手続き等) がなかった場合には除籍になります。</p>
	<p>復学願</p> <p>◎休学期間満了の場合、または休学期間であっても休学事由が消滅した場合には、原則として前期からの場合は2月末、後期からの場合は8月末までに、復学願を提出してください。(疾病の場合は、医師の診断書を添付してください。)</p>
	<p>退学願</p> <p>◎退学しようとする日から起算して1ヶ月前までに手続きを行ってください。なお、退学する学期の授業料を完納しなければなりません。</p>
	<p>住所・本籍変更, 改姓, 保証人変更届</p> <p>◎本人や保証人の現住所、連絡先が変更になった場合は、学籍簿変更届を提出してください。また、学生ポータルに入力してください。</p> <p>◎本籍及び国籍の変更、改姓が生じた場合は、学籍簿変更届に公的証明書を添付して提出してください。</p>
その他	<p>学生証の再発行</p> <p>◎紛失や盗難、在籍期間延長のために再発行が必要な場合は、学生証再発行申請書により再交付を申請してください。</p> <p>紛失による再発行の場合は再発行用カード (350円、生協ブックセンター販売) の購入が必要になります。</p>
	<p>各種奨学金制度</p> <p>日本学生支援機構奨学金、その他各種奨学金の詳細については、学務部学生支援課 (043-290-2178, 2169) へ問い合わせてください。</p> <p>※奨学金受給者で、休学等の身分異動や、氏名・現住所等の変更が生じた場合には、学務部学生支援課で手続きが必要になります。</p>

3) 指導教員の変更について

指導教員を変更する場合には、速やかに「指導教員変更届」を人社系学務課大学院学務室に提出すること。

なお、「指導教員変更届」には、旧指導教員及び新指導教員の承認印が必要です。主任指導教員は所属するコースを担当する専任教員でなければなりません。各教員が担当するコースは、巻末の教員名簿で確認してください。

4) コースの変更について

過剰な科目履修を伴わないコース変更（指導教員の変更）は2年次進学時まで可能な場合があります。コース変更を希望する場合には、1年次の7月末日又は1月末日までに「コース変更申請書」を希望するコースの指導希望教員に提出してください。コースの指導予定教員は、審査結果等を「コース変更申請書」に追加記入し、学府長あてに提出します。学府長は申請学生に変更の可否について通知します。なお、新たなコースの履修は、1年次第4タームまたは2年次第1タームからとなります。

5) 海外渡航

私事渡航を含めて海外に渡航（一時帰国）する場合には、必ず「海外渡航届」を人社系学務課大学院学務室に提出してください。これは、海外で災害・テロ・感染症発生等の緊急事態が発生した際、当該地域へ渡航中の学生の安否確認を迅速に行なうためのものです。「海外渡航届」は人文公共学府ホームページ又は学生ポータルよりダウンロードできます。なお、手書きの場合には、メールアドレス等が読み取れない場合がありますので、パソコンで入力したものを印刷して提出してください。

また、渡航する前には外務省・海外安全ホームページ (<http://www.anzen.mofa.go.jp/>) にて渡航先の国・地域の最新の海外安全情報を必ず確認するとともに、日本人学生は外務省が実施している渡航登録サービス（「たびレジ」又は「在留届」）に登録してください。海外保険及び海外安全危機管理サービス（OSSMA）加入（自己負担）も必要となります。詳しい情報については、「留学生課留学支援室ホームページ (<https://www.ryugaku.chiba-u.jp/others/crisis.html>)」を参照してください。

6) 長期履修学生制度

職業を有している等の事情で、通常の学生よりも1年間または1学期間に修得可能な単位数や研究指導を受ける時間が制限されるため、大学院博士後期課程の標準修業年限である3年間を超えた在学をしなければ課程を修了することができないと考える者は、長期履修学生の申請をし、その審査を受けることができます。詳細については、人社系学務課大学院学務室にお問い合わせください。

7) 教育方法の特例について

本学府では、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間に、授業または研究指導を行い、単位の修得を認めることがあります。

8) 研究倫理審査について

研究活動において調査等を実施する際、調査等の実施内容について研究倫理審査の必要がある場合は、主任指導教員が所属する部局の研究倫理審査委員会（担当：各部局総務係）で審査します。研究倫理審査の要否については、主任指導教員に相談してください。

6. 授業科目（別表1）

※「英語開講」欄：◎は英語による授業を前提としている。○は受講者からの要望があれば、担当教員の裁量により開講する。

（1）共通基礎科目

講義コード	授 業 科 目		開 設 単 位			履修年次	英語開講	ナンバリングコード	必修・選択の別	履修方法
			講義	演習	実習					
D025100101	人文公共学 リサーチ方法基礎論	Basic Research Methodology in Humanities and Public Affairs	1			1		DY701	必修	必修科目として履修する。

（2）実践科目

講義コード	授 業 科 目		開 設 単 位			履修年次	英語開講	ナンバリングコード	必修・選択の別	履修方法
			講義	演習	実習					
D026100101	プロジェクト研究 I	Research Project I			2	1-3		DY711	選択	4単位以上の履修を必要とする。
D026100201	プロジェクト研究II	Research Project II			2	1-3		DY712	選択	
D026100501	国際インターンシップA ※	International Internship A			2	1-2		DY715	選択	
D026100502	国際インターンシップA ※	International Internship A			2	1-2		DY715	選択	
D026100601	国際インターンシップB ※	International Internship B			2	1-2		DY716	選択	
D026100602	国際インターンシップB ※	International Internship B			2	1-2		DY716	選択	
D026101201	海外フィールドワーク	International Fieldwork			2	1-2		DY722	選択	
D026101202	海外フィールドワーク	International Fieldwork			2	1-2		DY722	選択	
D026101301	国内フィールドワーク	Domestic Fieldwork			2	1-2		DY723	選択	
D026101302	国内フィールドワーク	Domestic Fieldwork			2	1-2		DY723	選択	
D026100801	国際研究実践論A	Global Practical Research A			2	1-3		DY718	選択	
D026100901	国際研究実践論B	Global Practical Research B			2	1-3		DY719	選択	
D026101001	国際研究実践論C	Global Practical Research C			2	1-3		DY720	選択	
D026101101	人文公共学特別演習	Seminar on Humanities and Public Affairs		1		1-3		DY721	選択	
D026101401	留学代替特別演習	Global Study		2		1-3		DY724	選択	

(注) 博士前期課程で同一名称の科目（※）を履修し、単位認定されている場合には、同科目の履修はできません。

（3）論文指導科目

講義コード	授 業 科 目		開 設 単 位			履修年次	英語開講	ナンバリングコード	必修・選択の別	履修方法
			講義	演習	実習					
D028100101	特別研究 I	Special Study I		1		1		DY901	必修	必修科目として5単位の履修を必要とする。
D028100201	特別研究 II	Special Study II			2	1-2		DY902	必修	
D028100301	特別研究 III	Special Study III			2	2		DY903	必修	

(4) 専門科目

講義コード	授 業 科 目		開設単位			履修年次	英語開講	ナンバリングコード	必修・選択の別	履修方法
			講義	演習	実習					
D027100101	東洋哲学	Eastern Philosophy		2		1-3		DF801	選択	所属するコースで開講されている授業科目を4単位以上履修する。
D027100201	現代哲学	Contemporary Philosophy		2		1-3		DF802	選択	
D027103601	分析哲学	Basic Research Methodology in Humanities and Public Affairs		2		1-3		DF836	選択	
D027104601	倫理学	Ethics		2		1-3		DF846	選択	
D027104001	経験社会学	Empirical Sociology		2		1-3		DF840	選択	
D027100401	家族変動論	Sociology of Family Change		2		1-3		DF804	選択	
D027100501	福祉社会論	Welfare Society		2		1-3		DF805	選択	
D027100601	地域変動論	Sociology of Regional Change		2		1-3		DF806	選択	
D027104701	越境の社会学	Sociology of Border Crossings		2		1-3		DF847	選択	
D027100801	環境人類学	Environmental Anthropology		2		1-3	○	DF808	選択	
D027100901	医療人類学	Medical Anthropology		2		1-3	○	DF809	選択	
D027104801	言語人類学	Linguistic Anthropology		2		1-3		DF848	選択	
D027101101	ヨーロッパ古典文献学	Classical and Medieval Philology		2		1-3		DF811	選択	
D027101201	東アジア比較社会論	Comparative Study on East Asian Societies		2		1-3		DF812	選択	
D027104301	東アジア歴史社会論	Historical Study on East Asian Societies		2		1-3		DF843	選択	
D027104401	東南アジア歴史社会論	Historical Study on Southeast Asian Societies		2		1-3		DF844	選択	
D027101401	イスラーム歴史社会論	History of the Muslim Societies		2		1-3		DF814	選択	
D027104101	日本歴史社会論	History of Japanese Societies		2		1-3		DF841	選択	
D027101601	ヨーロッパ近世社会論	Early Modern History of European Societies		2		1-3		DF816	選択	
D027101801	考古学	Archaeology		2		1-3		DF818	選択	
D027102001	ユーラシア言語論	Eurasian Linguistics		2		1-3		DF820	選択	
D027102101	ユーラシア文化論	Eurasian Cultures Study		2		1-3		DF821	選択	
D027102201	ユーラシア民族論	Anthropological Study in Eurasia		2		1-3		DF822	選択	
D027103701	日本芸能文化論	Japanese Classical Performing Arts and Culture		2		1-3		DF837	選択	
D027103801	移民と教育の現代社会論	Educational Sociology of Migration		2		1-3		DF838	選択	
D027102401	日本文学資料論	Japanese Literature		2		1-3		DF824	選択	
D027102501	日本文学表現論	Japanese Literature and Culture		2		1-3		DF825	選択	
D027104501	日本文学享受論	Historical Study on Reading Japanese literature		2		1-3		DF845	選択	
D027102801	多文化相互行為論	Interaction in Multicultural settings		2		1-3		DF828	選択	
D027102901	言語行動分析論	Analysis of Language Behavior		2		1-3		DF829	選択	
D027103901	理論言語学	Theoretical linguistics		2		1-3	○	DF839	選択	
D027104201	日本語教育論	Japanese Language Pedagogy		2		1-3		DF842	選択	
D027103201	英語圏文化論	Culture in English-speaking World		2		1-3		DF832	選択	
D027104901	比較文化論	Comparative Culture		2		1-3		DF849	選択	
D027103301	ヨーロッパ言語文化論	Language and Culture in Europe		2		1-3		DF833	選択	
D027105001	現代宗教論	Theorising Contemporary Religion		2		1-3	○	DF834	選択	
D027105101	多文化共生論	Studies of Multicultural Societies		2		1-3		DF835	選択	
D027105201	多文化共生論演習	Seminar on Studies of Multicultural Societies		2		1-3		DF835	選択	
D027105301	民俗資料論	Seminar on Folklore Studies		2		1-3		DF850	選択	
D027105401	科学技術と社会	Science, Technology and Society		2		1-3		DF851	選択	
D027105501	先史考古学	Prehistoric Archaeology		2		1-3		DF852	選択	

講義コード	授 業 科 目		開設単位			履修年次	英語開講	ナンバリングコード	必修・選択の別	履修方法	
			講義	演習	実習						
公 共 学 科 コ ー ス	D027200101	政治思想史	History of Political Thought		2		1-3		DG801	選択	所属するコースで開講されている授業科目を4単位以上履修する。
	D027201501	日本政治史	Japanese Political History		2		1-3		DG815	選択	
	D027200201	公共哲学	Basic Research Methodology in Humanities and Public Affairs		2		1-3		DG802	選択	
	D027200301	公共文化論	Public Culture		2		1-3		DG803	選択	
	D027200401	国際経済論	International Economics		2		1-3	○	DG804	選択	
	D027200501	公共政治論	Public Politics		2		1-3	○	DG805	選択	
	D027200601	公共政策論	Public Policy: Citizens and Governance		2		1-3	◎	DG806	選択	
	D027200701	環境経済論	Environmental Economics		2		1-3		DG807	選択	
	D027200801	国際政治論	International Politics		2		1-3		DG808	選択	
	D027201801	国際関係論	International Relations		2		1-3		DG818	選択	
	D027201901	グローバル関係論	Relational Studies on Global Crises		2		1-3		DG819	選択	
	D027200901	雇用政策論	Labor Market Policy		2		1-3		DG809	選択	
	D027202001	移民研究	Migration Studies		2		1-3		DG820	選択	
	D027201001	メディアリテラシー論	Media Literacy		2		1-3		DG810	選択	
	D027201101	市民社会論	The theory of Citizenship Society		2		1-3		DG811	選択	
	D027201301	司法福祉論	Forensic Psychology and Social Work		2		1-3		DG813	選択	
	D027201401	国際協力論	International Cooperation		2		1-3	○	DG814	選択	
	D027201601	社会思想史	History of social thought		2		1-3		DG816	選択	
D027201701	国際政策論	International Policy		2		1-3	○	DG817	選択		
社 会 科 学 コ ー ス	D027300101	ミクロ経済学	Microeconomics		2		1-3	○	DH801	選択	所属するコースで開講されている授業科目を4単位以上履修する。
	D027300201	マクロ経済学	Macroeconomics		2		1-3		DH802	選択	
	D027300301	計量経済学	Econometrics		2		1-3		DH803	選択	
	D027300401	開発経済学	Development Economics		2		1-3	◎	DH804	選択	
	D027300501	近代日本社会経済史	Social and Economic History of Modern Japan		2		1-3		DH805	選択	
	D027300701	選択行動分析	Analysis of Choice Behavior		2		1-3	○	DH807	選択	
	D027300901	紛争解決法展開演習	Expanded Seminar on Conflict Resolution		2		1-3		DH809	選択	
	D027301101	行政法	Administrative Law		2		1-3		DH811	選択	
	D027301201	労働法	Labor Law		2		1-3		DH812	選択	
	D027301501	法哲学	Philosophy of Law		2		1-3		DH815	選択	
D027301601	民法	Civil Law		2		1-3		DH816	選択		
修了要件及び履修方法 共通基礎科目 1単位 実践科目 4単位以上 論文指導科目（特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ） 5単位 専門科目 4単位以上 自由選択科目 2単位以上 ※計16単位以上（留学に係る単位を含む）を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で博士論文を提出し合格すること。											

授業時間割表

時限	時間
1時限	8:50~10:20
2時限	10:30~12:00
昼食時休憩	12:00~12:50
3時限	12:50~14:20
4時限	14:30~16:00
5時限	16:10~17:40
6時限	17:50~19:20